



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	6.ぴあのわ2017 参加報告：他大学との交流とその成果
Author(s)	下川, 千尋; 西村, 瑠佳; 春名, 恭太郎 他
Relation	北海道大学ピアサポート活動報告書（平成29年度版）p. 52-58
Issue Date	2018
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/69395
Type	report
File Information	eersupport_6.pdf



6. ぴあのわ 2017 参加報告

—他大学との交流とその成果—

下川千尋¹・西村瑠佳²・春名恭太朗³・平塚杏子⁴

1. ぴあのわとは

ぴあのわとは、全国にある大学のピアサポート組織からピアサポーターが集まり、各大学の活動についての意見交換や課題に関する議論を行う、年一回の合同研修会である。ぴあのわ 2017 は 10 回目のぴあのわとなり、2017 年 2 月 17 日と 2 月 18 日の計 2 日開催された。また、幹事校は東京大学ピアサポート室であり、開催場所は東京大学であった。今回は各大学から大学生ピアサポーターと教員の合計約 180 名が参加し、北海道大学からは現役ピアサポーターの平塚、下川、西村、春名とアドバイザー教員の齋藤先生、加えてオブザーバーとして本ピアサポート室 OB の鎗水⁵、鈴木⁶が参加した。

2. ぴあのわ 2017 の概要

はじめにその内容であるが、1 日目は 4 つのプログラムから成り、1 番目にカルフォルニア大学サンディエゴ校の Reina Juarez 博士⁷による「ピアによる学生サポート活動：より健康的な大学キャンパスコミュニティのためのメンタルヘルス・アウトリーチ&エンゲージメント戦略」というテーマの講演があった。

2 番目に各大学のピアサポーターが事前に用意したポスターを用い、それぞれの組織における活動内容について職員の方含め交流を行った。図 1 に本ピアサポート室で作成したポスターを示した。このポスターセッションの様子については図 2 に示した。

¹ 北海道大学文学部 4 年

² 北海道大学理学部 3 年

³ 北海道大学文学部 4 年

⁴ 北海道大学文学部 4 年

⁵ 2013～2014 年度北海道大学ピアサポート室代表

⁶ 2015 年度北海道大学ピアサポート室代表

⁷ Director, Counseling and Psychological Services, UC San Diego

3 番目の公開シンポジウムでは「大学におけるピアサポート活動の実際と課題」というテーマの元で内野悌司准教授⁸と森本紗代氏⁹による話題提供及び Reina Juarez PhD と高野明准教授¹⁰を交えた指定討論が行われた。大学におけるピアサポート活動の問題点として相談件数の少なさや負担の偏りなどが挙げられ、その解決方法に広報活動の改善やサポーター間の相互理解などが提示されていた。

4 番目には懇談会が開催され、会食しながら参加者同士で交流を行った。サポーターや教員間での交流を打ち解けた雰囲気で行うことで、より活動に関して詳細な議論を行うことが出来た。懇談会の様子については図 3 に示した。

⁸ 広島大学保健管理センター/ピア・サポート・ルーム

⁹ 東京大学ピアサポートルーム ピアサポーター

¹⁰ 東京大学学生相談ネットワーク本部ピアサポートルーム 室長

フリースペース×相談場所

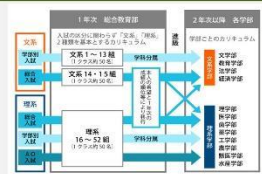
北海道大学
ピアサポート室
下川千尋、春名恭太郎、
平塚杏子、西村瑠佳



北海道大学の特徴

ほぼ全ての学部が札幌キャンパスに集まっており、一年生と二年次以降の学生が同じキャンパスで学ぶ。北海道大学には「学部移行」というシステムがある。一年生は入試形態にかかわらず全員が「総合教育部」に所属し、2年次以降にそれぞれの学部に移行する。特に総合入試で入学した

学生は成績によって移行先が決定する。また、学部学生のおよそ7割が自宅外から通学しており、一人暮らしの学生が多いことも特徴だ。学業や一人暮らしによる環境の変化の他に、バイト、サークルなど悩みや困りごとを抱えているが、身近に相談できる相手がいない学生もいる。



学生同士で助け合う場が必要

フリースペースとしてのピアサポート室



北海道大学ピアサポート室は、**学生による学生のための相談窓口**と、**フリースペース**としての機能を持っている。フリースペースとすることでピアサポート室に入りやすい雰囲気をつくり、そこから気軽に相談を引き出せるようにしている。平日（長期休暇除く）**12:00-16:30毎日開室**しており、自習、食事、友人との雑談、授業の間の息抜きなどに使われている。特に、お休みに昼食を取りに来る方が多い。ただ、単なる

フリースペースにならないように、サポーターからの声かけやピアカフェなどのイベントを通して、サポーターと利用者とのつながりを大切に、**いざというとき相談しやすい環境づくりに**動いている。また、壁面には、ピアサポーターのプロフィールカード、大学機関からの「おしらせ」、学生主催のイベントのチラシなどが掲示されている。

相談業務

相談内容は学業に関することから対人関係について、文具の借用まで多岐にわたっている。学生からの相談を待つだけでなく、利用者にサポーターから声をかけ、雑談をしながら利用学生の抱えている悩みに答えたいこともある。



サポーター

現在ピアサポート室には22名（2016年7月現在）の学部2年生から博士課程3年生までのメンバーが在籍している。サポーターの学部は多岐にわたり（文、法、教育、理、農、工、医学部含む）**学部移行相談**に適した環境となっている。また、サポーターがチームごとで活動し、イベントや冊子制作を行っている。

募集は公募で行い、採用時には先輩サポーターに話を聞き、室内の観察をした後1.5時間の研修を受けてサポーターとなる。また、サポーターは事務職員として雇用され、開室時間中は2人のサポーターがシフト制で室内に常駐している。

イベントチーム

目的：サポーターと利用者の関係を深めるためのイベントを企画・運営し、利用者の増大を図る



開催によって一日当たりの平均利用人数が増えたことが下記表より分かる。

期間	利用者数平均
開催前(4/12-7/6)	31人
ピアカフェ中(7/7-8/5)	36人
開催中(9/28-10/21)	36人
ピアカフェ中(10/24-11/4)	41人

季節に合わせたイベントを実施した。七夕イベントでは利用者に願い事を書いてもらった。



情報収集チーム

目的：北大生の学生生活に役立つ情報を提供する

学部学科選択	とのまき
上級生へのアンケートを元に、各学部、学科、コースでの時間割のモデルと特徴をまとめ、冊子として公開している。	

部活・サークル大辞典：大学内の公認/非公認団体(部活・サークル等)のピラや紹介文を公開している。他にも、ピアサポート室内の蔵書リストを作成中。今後は"サポーターおすすめ本"の紹介等も行う予定だ。



連携チーム

目的：①大学内の他の学生支援機関との連携を図り、支援機関との継続的な関係を作る
②ピアサポーターが利用学生に適切な支援機関を紹介できるようになる



学生支援機関を紹介する冊子「ピアサポーターがゆく 北大生お役立ち機関」の作成を行った。サポーターが自ら機関に取材に行きその体験を「学生目線」で伝えることで、既存の大学発行の冊子やHPとは異なり、学生が支援機関をより身近に感じられる冊子を目指した。

広報チーム

目的：広報活動によりピアサポート室内外へのアプローチを強化する

SNS (Twitter, Facebook) を用いて室内の様子やイベント情報を発信している。



利用者にピアサポート室の利用目的を一言で表現してもらう「ピアサポートってこんな場所」。利用したことのない学生に向けてのアピールを目的とする。



図1 ぴあのわのために作成したポスター

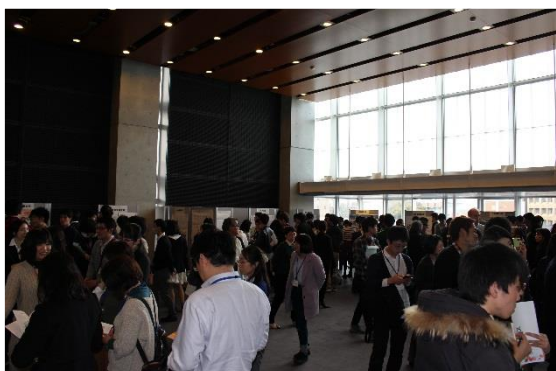


図 2 ポスターセッションの様子

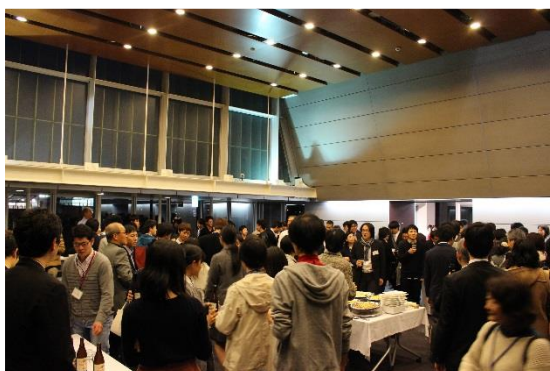


図 3 懇談会会場の様子

続いて 2 日目は分科会と全体会という 2 つのプログラムから成っていた。

分科会では 6 つのグループに分かれてそれぞれ別のテーマについて情報共有と議論を行った。例えば「ピアサポート活動の意義について」や「ピアサポーター同士の交流について」といったテーマのグループがあり、どのグループも活発な議論を行うことが出来たように見受けられた。

その後、全体会にて各グループで討論した内容をまとめてその結果を発表し、さらにグループ外の学生や職員からも意見を募り、より深い議論を交わすことが出来たように感じた。分科会の様子については図 4 に、全体会の様子は図 5 に示した。



図 4 分科会の様子



図 5 全体会の様子

上記 2 日間の活動を通して全国の大学のピアサポーターと交流することが出来ただけでなく、北海道大学ピアサポート室の活動を改めて客観的に見直す良いきっかけになったように思う。以下では、びあのおで得られた成果や 2017 年度の活動に活かしたアイデアなどを提示する。

3. ぴあのわで得たもの・ぴあのわの影響で始めた取り組み

ぴあのわを通して得たものの中で一番にあげられるのは、ピアサポーター同士の情報共有の重要性である。北大ピアサポート室ではシフトと月に一度の全体会議やこちらもおおよそ月に1度のチームごとの小会議が、ピアサポーターが顔を合わせる機会である。しかし、同じ時間帯のシフトにならない人や忙しくて会議等に顔を出せない人もでてきてしまい、情報共有がおろそかになることがある。

このような情報共有の困難さは、ぴあのわ2017全体を通して盛んに議論された項目のひとつであった。ピアサポーター同士の理解が下がり、ピアサポーターにとってピアサポート室という組織が居心地のよい場所ではなくなってしまうことや、情報がうまく共有されないことにより、ピアサポートの活動に参加するモチベーションが下がってしまうことは他大学も抱える共通の悩みであったのである。そしてぴあのわにおいて議論する中で情報共有についての問題点を共有したり、他大学の取り組みについて知ることができた。

北大ピアサポート室ではぴあのわで議論したことを生かして情報共有のための3つの取り組みを行った。

まず1つ目の取り組みは、各人の忙しさ等の状況を知るためのアンケートの実施である。これはピアサポーター同士が忙しさやアピールポイントといった各人の状況を理解し、お互いの状況を理解することで活動をしやすいするためのものである。

2つ目の取り組みは、情報共有ノートの作成である。情報共有ノートとは、シフト中のサポーターの悩みや提案等を書き込み、その書き込みに対して他のサポーターが回答、提案、意見をするというものである。これは、業務中に浮かんだ不安やアイデアをシフトであまり顔を合わせないピアサポーターも含めて共有し、ピアサポーター間のコミュニケーションを活発にするとともに、些細な問題をくみ上げ全体会議など全体での議論に持ち上げるためのものである。

3つ目の取り組みは、グーグルドライブの活用である。全体会議やチームの小会議の議事録、掲示物のデータ等をピアサポート室のグーグルドライブで共有することで、時間や場所の制約を受けることなくピアサポーターがピアサポート室のデータにアクセスできるようにした。運営に関する情報共有をよりスムーズに行うために導入した。

加えて、情報共有のための取り組みだけではなく、ぴあのわで他大学から刺激を受けたことで、チラシの刷新とピアサポーター主催の研修という2つの取り組みを行った。

チラシの刷新は、ピアサポート室のことを知らない学生に向けてピアサポート室の活動内容をわかりやすく伝えるために行った。新入生向けに配布するチラシおよびピアサポート室室外に掲示するチラシを刷新した。刷新したチラシについては図 6 に示した。

次に研修についてであるが、北大ピアサポート室では、従来は相談員の教員による研修が中心であり、ピアサポーターが主催する研修は行われてこなかった。しかし、ぴあのわにおいて研修に関する議論をする中で、ピアサポーター主催の研修を行う団体から話を聞き、北大ピアサポート室でもピアサポーターによる研修を開催するに至った。研修の内容は、履修制度や新渡戸カレッジの制度についてであった。研修は、講師も聴講者もピアサポーター同士であったために、ざっくばらんな雰囲気で質問が活発になされるなど良い雰囲気で行われたように思う。

上記のようにぴあのわに参加し他大学から刺激をうけ、意見を交換することで北大ピア室に新しい働きが生まれ、ピアサポーター同士の状況を確認するアンケート、情報共有ノート作成、グーグルドライブの活用、チラシの刷新、ピアサポーター主催の研修などが新たに行われた。

ぴあのわに参加する大学のピアサポート団体は、大学公認か否か、メンバーの人数、活動内容などは様々であるが、モチベーションの維持や活動の維持など抱える悩みは共通する部分が多い。その共通の悩みをぴあのわで集まった全国各地の仲間と共有し意見を出し合うことで、他大学からもらえたアドバイスを自身の組織に持ちかえり問題を解決したり、他大学のピアサポート組織の状況を知ることによって北大ピアサポート室の活動を客観的にとらえ、潜在的に抱えていた問題に気付いたりすることができる。さらには、他大学から受けた刺激を北大での活動に還元することができる。それゆえ、今後もぴあのわに参加し、全国各地の仲間とともに大学におけるピアサポート活動を高めてゆきたい。

学生による学生支援機関
ピアサポート室

開室時間

平日12:00~16:30

場所

情報教育館2F
北図書館よこ

ピアサポート室って？

ピアサポートとは、仲間（peer）による支援（support）です

- ✓2年生以上の北大生が**ピアサポーター**として在室
- ✓**フリースペース**として使える場所です

飲食・自習・仮眠・雑談もOK！



- ✓机やイス、文具などを自由に使えます 専門書もあります
- ✓先輩北大生に**相談**もできます！どんなことでも大丈夫！
愚痴・時間割・学部移行・部活サークル・・・などなんでも

相談例

あの学部に行きたい！
けど、どうすれば？





愚痴を聞いて欲しい！

時間割の組み方が
あっているのか不安



★お気軽に来てください！

Follow Us!!


@peersupport_HU


QRコード▶



図 6 新入生に配付したチラシ